

AY 2027  
Entrance Examination Guideline for the  
Application Guide  
for Master's Program of Health Sciences and  
Nursing

2027 年度健康科学・看護学専攻 修士課程  
学生募集要項 入学試験案内

1. 専攻分野
2. 入学試験の概要について
3. 出願手続
4. 受入予定指導教員一覧

東京大学大学院医学系研究科  
Graduate School of Medicine  
The University of Tokyo

# 令和9（2027）年度

## 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻

### 修士課程 入学試験案内

本冊子は、「東京大学大学院医学系研究科 修士課程 学生募集要項」（以下、「募集要項」）の内容を補完するものですから、志願者は必ず「募集要項」を参照してください。本冊子には健康科学・看護学専攻のみに関係する事項についての情報が載っており、医学系研究科の修士課程に共通する事項は「募集要項」に記載されています。

#### 1. 専攻分野

- ・看護管理学
- ・高齢者在宅長期ケア看護学
- ・地域看護学・公衆衛生看護学
- ・家族看護学
- ・老年看護学
- ・母性看護学・助産学
- ・次世代創傷ケア開発学
- ・看護体系・機能学
- ・緩和ケア看護学
- ・行政看護学
- ・精神看護学
- ・創傷看護学
- ・ナーシングデータサイエンス
- ・放射線健康科学（2027年度は募集しません。）

#### 備 考

- (1) 志願者は、出願書類を提出する前に、志望する専攻分野の指導教員に連絡をとる。（4. 受入予定指導教員一覧を参照）
- (2) 健康科学・看護学専攻では、保健師国家試験受験資格が得られる保健師教育コースと助産師国家試験受験資格が得られる助産師教育コースを開講している。両コースは選択制であり、いずれかの教育コースを志望する者は、出願資格に加えて、日本の看護師免許取得者又は看護師免許取得見込者であることが要件となる。なお、希望者は願書の該当箇所をチェックのうち、「教育コース履修希望書」（募集要項6. 出願手続(5) 提出書類等を参照）を提出すること。
- (3) 健康科学・看護学専攻内のどの専攻分野を志望する場合も、いずれかの教育コースを併せて志望することができる。ただし、保健師教育コースと助産師教育コースの両方を志望することはできない。保健師教育コースまたは助産師教育コースへの志望者に対しては、本選抜に加え別途選抜を行い、保健師10名、助産師5名程度を上限としてそれぞれ受け入れる。保健師教育コース・助産師教育コースの別途選抜によるコース履修可否判定は、大学院入学試験ならびに教育コース履修希望書に基づいて行う。この別途選抜のための口述試験は、大学院入試筆記試験合格者の口述試験の際に併せて行う。

#### 2. 入学試験の概要について

- (1) 一次試験は以下の①～③を総合的に評価する
    - ① 外国語審査（TOEFL または IELTS 成績証明書）
    - ② 小論文（事前提出）
    - ③ 筆記試験（保健学、専門分野）
- ※2026年8月17日（月）にオンラインで筆記試験を実施する

(2) 二次試験は一次試験の合格者に対して、口頭試問を行う

※2026年8月21日(金)にオンラインで口頭試問を実施する

### 3. 出願手続

(1) 出願期間を過ぎた場合については、理由の如何に関わらず一切受け付けることは出来ないので、出身学校等へ証明書等の発行依頼を早めに行うこと。万一、証明書の発行が間に合わない場合には、必ず事前に医学系研究科学務チーム大学院担当 (E-mail: in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) へ連絡すること。

(2) 入学試験の試験時間については、出願後に WEB 出願システムのマイページを介して交付される「受験者心得」により知らせる。

(3) 募集要項に定められた出願手続に従い出願すること。提出書類についての注意事項をよく確認すること。

(4) 出願にあたっては「募集要項」(6. 出願手続 (5) 提出書類等) に記載の (ケ) にあたる以下の書類も提出すること。

A 小論文	全員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所定様式を使うこと。日本語で合計1,600字以内、または英語で合計700語以内。(引用文献リストを除く)</li><li>・ 志望理由および保健学・看護学の知識・技能に関する自己アピールについて記入すること。</li><li>・ 自己アピールは各種検定や活動などの実績を自由に記述すること。</li><li>・ 剽窃チェックを行うので、文献を引用した場合には必ず出典を記載し、公表済みの自身の論文についても出典を記載すること。</li></ul> <ファイル名> 【健康科学・看護学】小論文(氏名)
B 誓約書	全員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所定様式に署名のうえ出願書類と併せて提出すること。</li></ul>
C 教育コース履修希望書	健康科学・看護学専攻志願者の中で保健師教育コース又は助産師教育コースの履修希望者のみ	当該教育コースを希望した理由を、A4判1枚にまとめ、左上に『教育コース履修希望書』と明記し「氏名、志望専攻分野指導教員名、希望教育コース名」も記載すること。なお希望理由には、希望教育コースと志望専攻分野において行いたい研究内容との関連を含めること。
D 日本語能力証明書	外国人のみ。 [日本の大学を卒業した者及び卒業見込み者は不要]	日本語の学力について、指導教員又はこれに準ずる者の証明書。 日本語学校等の証明書でもよい。 日本語検定試験等を受験している留学生については、合格証明書のコピー提出に代えることができる。

(5) 修士課程入試の外国語（英語）について

※令和9（2027）年4月入学のための入試情報です。

東京大学大学院医学系研究科修士課程の各専攻（健康科学・看護学専攻、国際保健学専攻、医科学専攻）の入試においては、「外国語（英語）」試験は実施せず、TOEFL又はIELTSの成績を利用して外国語審査を行います。修士課程へ出願する方は、以下要領で、TOEFL又はIELTSの成績証明書をご提出ください。

成績証明書の提出は、以下1、2及び3のすべての手続きが必要です。1～3のうち、どれか一つでも手続きが完了していないと、成績証明書を受理することができませんので注意してください。

1. 試験の種類

TOEFL-iBT、TOEFL iBT® Home Edition、IELTS（Academic Module）のいずれかの成績証明書を受理します。（「IELTS（General Training Module）」は対象としません。）

2. 成績証明書の有効期限

いずれの成績証明書においても、2024年8月1日以降に受検したものに限定します。

3. 成績証明書スコア提出の流れ

TOEFLの場合

①TOEFL Official Score Reportを送付する。

TOEFL 申込時から受検前日までの間に、ETS 個人アカウントでページにログインし、本研究科に「Official Score Reports」を送付手配する手続きをしてください。その際、以下のコード等を入力してください。なお、過去に受検した TOEFL-iBT スコア（有効期限内に限る）を利用する場合も同様です。

DI (Designated Institution) Code: 8426 University OF Tokyo Faculty MED  
Division: Graduate Organization  
Department: 42 - Medicine

・送付手続きが正しく完了し、試験自体にも問題がなければ、当研究科では受検日から約8日後にオンラインで公式スコアを確認することができます。ただし、試験時にネットワークや機器のトラブル等で再試験になったり、成績証明書スコアの開示が遅れることがあるため、十分な日程の余裕を持って受験をしてください。

・大学院入試出願前に送付手続きをすることができます。また、過去に上記コード等を利用して本研究科宛に有効期限内のスコアを送付手配手続済みの場合、再度送付する手続再送付は不要です。

・成績証明書スコアの送付手続きは複数回おこなっても問題ありません。つぎの②で登録した Appointment Number と受検日の成績証明書スコアのみを受理します。

・成績証明書スコアの到着状況についてはお答えしません。

②Appointment Number と受検日を「WEB 出願システム」に登録する。

提出する成績証明書スコアの Appointment Number と受検日を、所定のスコア提出期限内までに「WEB出願システム」に登録してください。

③Test Taker Score Report を「WEB 出願システム」にアップロードする。

②で登録した Appointment Number と受検日の Test Taker Score Report (PDF) を、所定のスコア提出期限までに「WEB 出願システム」にアップロードしてください。Test Taker Score Report (PDF) は、受検受験日から約8日後以降、ETS アカウントからダウンロードが可能です。

※TOEFLを複数回受検した場合でも、アップロードするスコアは1部に限りません。

### 注意事項

以下の場合、外国語試験の成績は無効とみなして、外国語審査を受検しなかったものとして取り扱います。

- (1) 「Official Score Report」の送付が本研究科で確認できなかった場合
- (2) WEB 出願システムにアップロードされた「Test Taker Score Report」と ETS から送付された「Official Score Report」が一致していない場合
- (3) 指定された期日（上記「2. 成績証明書の有効期限」参照）より前に受検した成績を提出した場合
- (4) その他不正な方法で提出した場合

### IELTSの場合

①Test Report Formを「WEB出願システム」にアップロードする。

「Test Report Form」を、所定のスコア提出期限までに「WEB 出願システム」にアップロードしてください。

※IELTS を複数回受験した場合でも、アップロードするスコアは1部に限りません。

※スコアに関する詳細は以下の IELTS ホームページを参照してください。

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

②IELTS Test Report Formを送付する。

IELTS 事務局へ、①で提出したものと同一受検時の「Test Report Form」の追加発行を申請し、下記の宛先に送付するよう請求してください。

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学大学院医学系研究科学務チーム大学院担当

※出願以前に請求が済んでいれば、事務局から送付される Test Report Form の到着が出願締め切り後になったとしても受理します。なお、IELTS を複数回受検したことにより「Test Report Form」が複数枚研究科に届いた際は、①で提出されたものと同一のスコアを採用します。

### 注意事項

・One Skill Retake制度を利用したスコアは認めません。

・以下の場合、外国語試験の成績は無効とみなして、外国語審査を受検しなかったものとして取り扱います。

- (1) IELTS 事務局から「Test Report Form」が届かなかった場合
- (2) WEB 出願システムにアップロードされた「Test Report Form」と IELTS 事務局から送付された「Test Report Form」の内容が一致していない場合
- (3) 指定された期日（上記「2. 成績証明書の有効期限」参照）より前に受検した成績を提出した場合
- (4) その他不正な方法で提出した場合

#### 4. 成績証明書の免除について

次の(1)または(2)に該当する場合、TOEFL または IELTS のスコア提出が免除される場合がある。スコア提出の免除を希望する者は、出願前に個別の審査を行うので、事前に本研究科事務部 (in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に申し出たうえで、2026年6月5日(金)までに審査に必要な書類を提出すること。

(1) オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、イギリス、アメリカのいずれかの大学を卒業(見込みも含む)した者

(2) 上記(1)以外の大学の卒業(見込みも含む)者で、大学全体が英語で授業を実施していることを示す大学発行の証明書を提出した者

※いずれも学士課程に限る。修士課程および博士課程には適用されない。

**英語を母国語とする国の出身者であっても、上記の期限までに申し出がない場合は、一切免除を認めることはできないので注意すること。**

#### 4. 受入予定指導教員一覧

##### ○専攻分野と指導教員

- (1) 志願者は、志望する専攻の教員（教授又は准教授）を指導教員とします。
- (2) 志願者は、出願書類を提出する前に必ず志望する指導教員に連絡を取ってください。
- (3) 各専攻分野の指導教員並びに研究分野は下表のとおりです。本年度で退職予定の教員等は、指導できない場合があります。

専攻分野	指導教員		研究分野	所属講座 (部門)
看護管理学	教授	池田真理 (兼)	看護組織や職場のダイナミクスや個人の経験の解明	予防看護学
看護体系・機能学	教授	池田真理 (兼)	リアルワールドデータを用いた医療・看護の質指標である提供体制・提供プロセス・アウトカムの評価、医療政策が患者・医療者・社会に与える影響の検証	予防看護学
高齢者在宅長期ケア看護学	教授 准教授	山本則子 野口麻衣子	高齢者在宅長期ケア (long-term care) 看護全般、長期ケア・訪問看護の質保証、地域ケアシステム開発 ケアに関する市民参加型実装研究	臨床看護学
緩和ケア看護学	教授 准教授	山本則子 (兼) 野口麻衣子	高齢者の終末期 (end-of-life) ケア全般、看護実践からの知の開発	臨床看護学
地域看護学・ 公衆衛生看護学 行政看護学	准教授	吉岡京子	地域看護学・行政看護学全般、地域ケアシステム開発、施策化、保健師の暗黙知の解明、 発育性股関節形成不全のアセスメント・予防	予防看護学
家族看護学	教授	池田真理	家族看護学・小児看護学全般。家族のアセスメントと家族看護学的アプローチの開発。家族形成期のメンタルヘルス、家族の QOL、小児慢性疾患の長期フォローアップと移行期支援、虐待予防、ジェンダーと看護	予防看護学
精神看護学	准教授 教授	宮本有紀 西大輔(兼)	精神科看護、社会復帰支援、リハビリ、共同創造 精神保健疫学、周産期メンタルヘルス、トラウマティックストレス、レジリエンス	臨床看護学  健康科学
老年看護学	教授	仲上豪二郎	看護理工学による高齢者重点看護技術開発、 産学連携によるデバイス・システム開発	臨床看護学
創傷看護学	教授	仲上豪二郎 (兼)	難治性創傷発生メカニズム解明、AI を用いた創傷発生・ 治癒予測、看護学とバイオロジーの融合研究	臨床看護学
母性看護学・ 助産学	教授 准教授	春名めぐみ 米澤かおり	妊娠・産褥期と新生児の生活と健康、 生理学的根拠に基づく分娩時ケアや新生児ケアの改善、 女性のライフサイクルにかかわる健康課題、助産に関連する制度	臨床看護学
ナーシングデータサイエンス	特任教授 特任准教授	林田賢史 友滝愛	データサイエンス、データベース研究、リアルワールドデータ、 医療・看護情報学、医療管理学・経済学、エビデンスに基づく政策形成 (Evidence-based Policy Making/ Evidence-informed Policy Making)、エビデンスに基づくヘルスケア (Evidence-based Healthcare)	社会連携
次世代創傷ケア開発学	特任准教授	麦田裕子	難治性創傷の治癒を促進する革新的次世代創傷ケアの開発 研究、看護理工学、材料科学、分子生物学、 バイオインフォマティクス、臨床工学の融合研究	社会連携
放射線健康科学			今回は募集いたしません。	

※この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがある。最新版の情報は、本研究科 Web サイト内のホーム>入学希望の方へ>大学院医学系研究科 のページ

<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html> に掲載するので、随時確認すること。